THE LADIES' JOURNAL OF EDUCATION.

驛遞局認可

明治二十年四月五日

定價金四錢

女學雜誌

第五十六號

每月三回發行

績文舍

Digitized by Google

Original from
CORNELL UNIVERSITY

目録

〔女學叢誌〕●男女交際の必要●〔中外新報〕十數件●〔學藝一斑〕年月の事●〔手藝一斑〕毛糸編物●〔列女傳〕小万の傳●〔論說〕仕來の事（矢田部良吉君）●〔雜記〕妻たるべき者のなすまじき事●〔新作物語〕閨の徹夜燈（南翠外史）●〔家政要報〕黑絹を洗ふ法○絹の汚點をぬく法○日用品諸相場●〔御伽草〕數學問題○考へ物等●〔寄書〕我愛すべき學生姉妹よ○歌數首●〔英語獨修〕ニユーナシヨナルリードル直譯

女學叢誌

○男女交際の必要

余輩は常に男女の交際を開くべしと主張するものなり男女の交際開けずむば何に由てか男女相選ぶを得べき男女相選ぶの事なからんには何に由てか夫婦相愛するの情を生ずべき相愛するの情なからんには何に由てか其交情の一生の和合と望むべき相愛し相親み男女の交情の和合してこそ萬の幸福は生ずるなれ左るを其初に於て相選ぶ事の愼しからざらんには爭で一生の和合を保つべきさて茲に余輩の男女相選ぶといふは啻に妻を娶り良人に嫁かんとする男女の自ら相選ぶ事とのみいふにはあらざるなり固より我邦從來の風習の如く父母の心のみをもて之を選びたりとて娶嫁する男女其人々の心に協はざる時はいかで夫婦の交情の睦ましかるべきさりとて父母兄弟にも議る所なくうら若き一時の浮きたる心もて自ら相選びたらんには果して偕老の娯樂を全うし得らるゝや否亦保ち難かるべし假令其選擇の正しからばとて雙方の父母兄弟の心に協はざる時は歐米諸國にありては兎まれ我邦の風俗にては之が爲夫婦の娯樂を全うし一家の幸福を保つ事難かるべしさるからに余輩の男女相選ぶといふは只に自ら相選ぶのみをいふにあらずして雙方の父母たるものも亦相選ぶべしといふにありさてその選ぶべき箇條もまたいと多くしてその父母兄弟の性質體格等に至るまで備さに相知らんには中々に一朝一夕の見聞もてよく悉す所にあらずされば如何にしてよかるべきたゞ父母兄弟諸共に男女打混じて交際を開くの外に其道なかるべし然るに我邦に於ては優美なる男女交際の間に相選び相求むるの習俗なきが故に近頃新聞紙に廣告して婚を求むるものあるは實に止を得ざるに出たるにて其情は憫むべしと雖どもまた其初に於て相選ぶ事の愼ましかるべきを思はざるの甚だしきものといふべきなり嘗て余輩はこの事につき本誌に求婚の輕忽と題し聊論じたる事ありしが去る廿四日以來の東京日々新聞を讀みて相選ぶ事の愼しからぬを嘆き益々男女交際の必要を感ずるなり

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

去る廿四日の東京日々新聞に求婚書牘と題し「此程小石川新諏訪町某氏の息女より本社へ向け左の求婚書を寄られたり先方の所望に恰當よして思召のある君子ハ本社の受附へ來られよ此富有活潑怜悧なる娘子の氏名其他を敎へ參らすべし」と掲げてその書牘といふハ

乍勞煩一寸奉願上候妾事當年十六年二ヶ月に相成り敎育ハ家庭敎育にハ候へども普通科一通りの敎授を受け且つ聊英語をも辨へ居り申候然る處此度母親のすゝめも有之相當の良人と迎へ申し度候間甚だ恐入候へども雜報にて御吹聽被成下度願上候

妾の財産ハ一坪五錢の地代と受る屋敷八百坪餘整理公債千三百圓有之候へ共家ハ借宅なり望みの良人ハ年齢廿歳以上廿七歳以下無財産にても宜し但し官私を問はず月入五十圓以上のものにして美醜ハ決して不論丈五尺三寸以上にして耶蘇敎を奉ずる者酒ハ可なれども烟草ハ斷然喫せざる者

とあり余輩ハ之を讀み僅かにこの三四箇條に適ひたらんにハ直ちに迎へて良人となすもの〻如く如何にも無造作なる求婚なれバ世にハ之に合格する男子のいと多かるべけれども眞逆に斯る無造作なる求婚に應じて一生の大禮を行ふものハあらざるべしと思ひたるよ豈に料らんや廿七日の同新聞に求婚の秀才諸氏に一言すと題し「去る廿四日の紙上に小石川諏訪町邊の令孃が求婚の一項を掲げしに其後來社の秀才も十餘名あり右にハ一々令孃の氏名住所を御傳へ申したれども往復はがき郵便切手封入等にて問合せらる〻向ハ其數實に夥多しく殊に中にハ詼謔の言を交へたるも見受るに付旁以て一括御報酬申さゞる事に致せり故に彼の令孃が所望の箇條と恰好にて及第の見込ある秀才諸氏ハ自身本社へ御出あるべし」と掲げたりさてハ官立學校の入學試驗若くハ諸官省の寫字生募集の試驗を受くるが如く輕々しき事に思ひなして刺を投ずるものもありけるよなさるにても月入五十圓以上のものハ先ず一通りの道理を解し物の輕重をも辨へたるものなるべきに世の中こそ思ひの外の事ハあれと竊かに嘆きたりしが廿九日の同新聞に求婚の取消と題して「此程求婚書を寄せられし小石川新諏訪町某氏の息女より意外の事情引起りたれば求婚の一事ハ一先取消されたしとて再び左の書を寄せられたり一度求婚書を紙上に掲載せし以來親しく本社に來りて問合さる〻もあり或ハ書を寄せて其番地等を問る〻もあり熱心に結婚を求めらる〻秀才の斯も多きやと思はる〻程なりしに今その求婚を取

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

消さるゝ事となりては是等の秀才は定めし失望の限なるべけれども是また詮方なき次第と詮らめ玉ふべし」とて左の書簡を掲げたり

翌日は鄙願御採容被下忝奉謝候甚だ身勝手には候得共意外の事情引起り止を得ざる場合に立至り候間一先求婚の一事は取消の程奉冀望候右一事御願申度態々如此に御坐候再拝

深山木の蕾といかに山風の
　ひとに知られで散れとふくらん

とありて益々その輕躁なるに驚きたり斯る有様にて相婚したふんにはいかで相愛し相親みて一生の和合を保ち得らるべき然れども男女の交際を開くにあらざれば何に由てか相選び何に由てか婚を求めん故に余輩は益々男女の交際の開け行かんことをこそ望むなれ

◎中外新報

○皇后宮御製の唱歌　左の唱歌は皇后宮の御製にて今般華族女學校へ御下附相成たるものゝ由よ承はる

金剛石も、みがゝずば、珠のひかりは、そはざらむ、人も學びて、後にこそ、まことの德は、あらはるれ、時計の針の、たえまなく、めぐるがごとく、時のまの、日かげをしみて、はげみなば、いかなるわざか、ならざらむ

水はうつはに、したがひて、そのさま〴〵に、なりぬなり、人はまじはる、友により、よきにあしきに、うつるなり、おのれにまさる、よき友を、えらびもとめて、もろともに、こゝろの駒に、むちうちて、まなびの道に、すゝめかし

○和樂會　高等女學校の敎員及び帝國大學の敎授方の發意にて會話、舞踏、音樂、唱歌などにより優美なる交際の慣習を養成せんとて今度和樂會といふを設けられたるよし此會の事務は高等女學校の敎員及び帝國大學の敎授方を委員に選びその監督に任じ毎週一回づゝ高等女學校の敎室に於て集會を開くの都合なりと聞くさて其委員に選ばれたるは瓜生繁子、丸橋光子、豊田芙雄子、鳩山春子、武村千佐子、矢田部良吉、箕作佳吉、穗積陳重、櫻井錠二、鮫島晋の諸氏なりといふ

○大藏大臣の舞踏場　永田町なる同大臣の官邸中へ新築の舞踏場は今度愈々落成せしにつき來る十一日貴婦人方を招待して開場の式を行はるべき筈なりといへば當日は定めて盛んなる事と推せらる

○婦人衛生會　高木海軍々醫總監の夫人を始めその他二三の夫人方が主唱せられ今度題號の會を設け時々内外有名の醫士を招き衛生に關する談話を聞き且つ之を平易なる文章もて編輯したる雜誌となし會員に頒たるべきあらましの由

○佐々木令娘　日本橋區釘店に開業せらるゝ醫師の令娘佐々木豐壽子といふは疾くより歐洲の風俗を慕ひ我邦婦人の風俗の改良せざるを歎き先年婦人編物會を設立しまた英學舍をも創立し且つ婦人矯風會の創設につきては一方ならず盡力せられたる由なるが今度また洋服裁縫の教授を始められたる由其の科程は甲乙の二種に分ち甲科は半ヶ年乙科は一ヶ年を以て卒業せしむるの見込にて教場は同區革屋町なる自家の扣家を以て之に充るよし

○婦人工藝會　唐澤里子、松浦滿子、世良田曾代子、諸女氏の發起にて今度婦人工藝會といふを設けられしが其の教員には番町なる櫻井女學校の教師ツルー女及び手嶋荒二、加藤久子等を聘し編物其の他各種の手藝を教授するよしにて教場は牛込區市ヶ谷仲ノ町三十九番地と定めたり

○共立女子職業學校　にては近ごろ生徒の技藝大に進みたるより府下の商家より製造品の注文を申出る向き多くなり其の注文品の製造にて充分練習する事を得らるゝの都合にて双方の便利多しといふ

○外國女教師の招聘　此ごろの横濱ガゼット新聞に記載したるを見るに永らく當地（桑港）に於て教員たりしマリー及びイサベラ、プリンスの兩女史は今度至當の俸給を以てマリー女史は女子高等師範學校の教員にプリンス女史は日本國に米國の風習に從ひ家事向きの學校を設立しその監督をなさんが爲め日本政府の招聘に應じたりと桑港のクロニクル新聞にありと見えたるが記者はマリー女史の事は聞かざれどもプリンス女史は疾渡來して現に高等女學校に教員たり

○成立學舍女學部の始業式　神田區駿河臺袋町九番地の成立學舍に於ては今度女子部を設けられ去る一日其始業式を行はれたり此日臨席せられたるは中村正直、辻新次、菊地大麓、矢田部良吉、山川健次郎、野村彦四郎、矢野次郎の諸氏デニング氏夫婦新聞雜誌記者（弊舍へも招狀を辱ふせ）等百餘名にて舍長中原貞七氏の演説野村彦四郎坂谷芳郎兩氏の祝詞其外琴箏曲の催ほし等あり式畢りて來賓一同に茶菓を供し午後四時過るころ退散せり

○男女懷妊自在法　去る廿六日の東京日々新聞に救苦庵主

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

といへるが男女懐妊自在法といふを寄せたるを見るに「夫婦の年と孕み月とを配せる三箇の黒白圏を書き左の所記に合せて胎兒の男女を選ぶべし而してその上圏を夫の年とし中圏を孕み月とし下圏を婦の年とするの白圏ハ奇數にして黒圏ハ偶數なり(舊暦を用ふ)

夫年○奇 孕月○奇 婦年○奇

夫年●偶 孕月●偶 婦年○奇

夫年●偶 孕月○奇 婦年●偶

夫年○奇 孕月●偶 婦年●偶

以上胎兒ハ男子なり

夫年●偶 孕月●偶 婦年●偶

夫年○奇 孕月○奇 婦年●偶

夫年○奇 孕月●偶 婦年○奇

夫年●偶 孕月○奇 婦年○奇

以上胎兒ハ女子なり

(附記)懐妊の時日ハ四十週間即ち二百八十日となす之を算するに月經の通じ畢りたる其翌日より起算し二百八十日目に當る日を産日と定むるなり(例へば一月より七日まで月經通じ其後懐妊したりといへば一月八日より起算して二百八十日に至るなり)即ち陽暦一月一日の懐妊ハ十月八日の出産、二月一日(平年)の懐妊ハ十一月八日の分娩とするが如し以下之に準へ

○癡人の夢 といふ新作の小説ハ有名なる南翠外史須藤氏の新著にして意匠の面白きハ勿論製本印刷ともいと美にして例の晩青堂より發兌せり

◎學藝一斑

○年月の事(前號の續き)

(日の事) 自然の日の長さハ地球がその軸に由て廻轉する一廻轉の時間にて乃ち廿三時五十六分時四秒時と一秒の十分の一なり此時間ハ乃ち或る星が同じ所に再び立歸る間の時間なり然れども地球が大陽を一週する爲に右の時間の外に三分時五十六秒時餘を要するを以て都合廿四時間となるこれ大陽が地球の表面に於て同じ場所に立歸る時間即ち地球上何れの所にてもその子午線に當る所に再び大陽が來る時間なり斯くて恒星日と大陽日また普通時と天文時との違ひあり

古代蒙昧の世にありてハ日の出と日の沒とを以て分つの外ハ日の分ちといふ事もなかりしが羅馬人ハ正午を報ずる爲に喇叭を用ひたり日を時に割る事ハメニエルといへる人の書物に見えたり此人ハ耶蘇紀元前五百五十二年頃の人なり猶太人も羅馬人も同じく一日を廿四時に分ち晝夜同時間と定めたるが故に一時間の長さハ季候と緯度の差に由て相違ある事ありしが近代ハ時間を平等になし一時間を六十分時に割りまた一分時を六十秒時に割るの法を用ふる事とハなれり(以下次號)

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY

◎手藝一斑

○毛糸編物（前號の續き）

以上述べたるハ肩掛の中眞なれども之よりその緣の編方を記すべし但し煩ハしきが故にその半分だけを左に記せバ餘ハ推して知られ得べし

最初ハ第三號の針にて六十編み（第一行）四度二つ一緒にあみ、糸を進め、八度一づ宛あみ、四度四つ一所にあみ、糸を一つ繍ひ、四度二つ宛一所にあみ、糸を進め、八度一つ宛あみ、四度二つ宛一所にあみ、一つ繍ふ（第二行）繍あみ（第三行）尋常の平編（第四行）初めに糸を繍ひろの後ハ第一行の通りに編むべし斯の如くして凡そ半分ばかり編みたる後ハ尋常の平編と繍編と一行隔に六行あむべし、扨てまた一行ハ尋常の平編、其次ぎの一行ハ糸を進め一つ穴にて二つあみ、又糸を進め一つ穴にて二つあみ、其次ぎの一行ハ平編となし都合六行あむべし（之ハ窩編となる）又其次に平編と繍編を一行隔に六行あむべし扨て角を造る爲めに中心を終りとを平編にて二つ三つ宛一所にあむべしこれ乃ち前號ニ揭げたるシェトランド毛編肩掛の周圍にして前號の編方ハ其中心なり

◎列女傳

○歌妓小万の傳（前號の續）

何某が俳諧の句に手にとるな矢張野におけとか口吟みしハ能く事の意をいひかなへたりとて誰も愛づえり實に分際ことなる人の俄に時得たるなどハ姿貌のよしわしのみにハならで心ざま折に觸れたる情の程も見劣りせぬハとさく無きなるべし深く思ひかはしたる人こそ然るかたに見直し聞き直しもすれ傍なる人況てよきにつけ惡きにつけて嫉ましうも憎うも思ひとり易きなからひなどにハいとゞ隈無く見え知られて斯る人のなど然ばかりハ懷しう戀しうハ思ハれけむなど忍びくにいへるゝが常の事なるに此移り來ぬる人ハ毫さる氣はひ見えずさるハ住むべき處にとて曹子拂ひあけて入れられしかど其方にハ籠りもをらず朝も疾起きて塵かいはらふ事より何くれと萬に心をつけながらも我ハ顏する人と飽まで思ハれざらむとて下婢どもにさへ其心しらひする程なれば嫉さも限みもすべき人さへ憎さ難う如何なればば斯う何事もおかぬ方なく心の行とほるらむと只此人の褒むべき事かぞへて語りぐさにすれば今ハなかくわらで叶ハぬ人數に入りて折々の衣調じ

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

出るとても筋織の太き細き染め色の濃き淡きも先とひはかりて後ころといふ樣に賴めわたれど此方も夫に乘るとよはあらぶて只めやすき狀に判斷てよからむ方に赴けつゝさし過いたる事なければいよゝ似なき者と思ひ纒さるゝなるべし主人公は此心づかひの斜ならぬがあはれにも殊勝にも愛思はるれば努めて一方に厚からじとて何事も同じやうに物すめり九年といふとしにや奉仕る司に事ありて退職となりぬ勢ひあり時なる人の時失へるばかり心苦しくかたはら痛きはなきものなるに此末如何あり行くらむと深く心にしめて歎けば何のはさる事あらむ豫て斯る事のあらむには心構へし契り置きつる事どももあれば再び仕の道に出立むとは思ひも懸けず今よりは身を商人の列に沈めてなか〳〵うら安く世を送りてむこは早くよりの我羨み望みし筋にてさる事ともならば兎せむ角せむと云るゝも一二人にはあらずなど云慰むれど怜悧く心きゝたるも蹈み習はぬ此世の中の路には徃惱むが多かるに世變りてより此かたさる類の此處彼處に見えしらがふになど危み思はぬにしもはさあらねど都て我かしこくは振舞はじとつゝましくのみもてつけたれば强ては制止もあへず只此筋の人どもの榮え衰ふるがいと早う夢の間にうつろひ行く例のいと多くてさる

方に身と委せたるが程もなく又同じ流に浮き沈める杯はよく知りたればとて時につけつゝ語り出るも過ちあらせじとの事と聽きなせば憎くもあらず然れど仕へ退きて何の仕出たる事もなく月日歷むは遺憾など思ふとの無にしもあらず其方にて常に語らひ交す浪華人にも種々はかりし事のやゝ整ひたりけむ一日電信にて疾く來ませと告げおこせぬれば主人公は船出の日など問ひ合せて遽だしう出たつ今は斯る旅寐もいと心やすくて身に添へ行く物とては革提ひとつにて常の往復にも變らぬ体なれば殊更に準備へすべき事も無れど追に馴れぬ家人は是も彼もと心遣ひぞ日に添へ木枯の寒う吹すさぶに船路やいかならむなどいふに眞にさてこそ侍れ此近きわたりに鎮ります水天宮は船人なども深く賴みを懸るところ聞き渡り侍ればとて朝まだきに詣でぬ何かはさる事をと笑はせ賜ふとも此方に賴み聞ゆる事を神もなどかは受させ賜はざらむとて詣でしは彼人の心のみにも侍らずなど云繕ふ程に急ぎ歸り來て守札にや細う紙に包みたるもの夫と知らせず彼革提の中に納むるも心の誠は隱れなかるべし朝よりさま〴〵の人來あひて別れ惜むひまもなく事繁かりしも晝頃は皆歸りゆきぬ只暫時の程なれば云遣すべき事もあらず船は四時ばかりに出との聞けば

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY

とて晝餐さへいと遽だしうしていでたつめりせめて新橋のほとりまで是送ふまはしく思へど別れ憂さハ我れ獨にもあらぬをと思ひ返してとゞまれるいとあはれなり日ひと日隔てゝ神戸の港より恙みなく着きぬとの便りあり怪しう走り書ける電信もなつかしううち戍らるゝ心地して互みにとり渡して讀みながらもかの御神の守護せ賜ハずば爭でか斯く速にハ物し賜ハむいざ諸侶に詣でてみ惠の畏さそ申してむといへば實よとて行く昨日と過ぎ今日とくらしてはや十日ばかりになりぬるにまた音信わり思ひかまへしことゞも都てあらぬ方なく整ひぬれば明日明後日のほどにハ神戸より船出すべしといと短文なれどみづから物したる文の來

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

たる悦びは宛然亡者の蘇生りたるやうにてその日と遲しと待ちくらせば昨日までは喧しとのみ聞えし車の音も思ひなしにやはなやかにて何れも〱門の外に引き留むるやうに聞きなさるれば夫かとて差覗く斯て三日過し夕つかた三四人の人々とともに歸り來ぬわわつかゝ走り迎へむもさすがにて徐かに入來るを見つゝ其悦びをいふさへ心空なり伴へる人々の物語の端々にも萬思ふさまなりし事の漏れ聞ゆるに先づ心は安堵ながら扨しもなほ細かに聞まほしう思へと盃とりて勸むるあど事多きにかい紛れたる程の心もとあさ云はむかたなし

（未完）

◎論說

○仕來の事（前號の續き）

矢田部良吉君　演述

さて仕來が肝要だと申しましたがこの仕來と申すものは世の中の進むに隨つて變るものでスから此お話は誠に仕にくいところがございまして譬へて申しませうなら私の小供の時には武士は二本の刀即ち大小と腰に手挿んだもので私も之を手挿で五里や七里の道は歩いた事もあります併し此仕來は今日では少しも無なッてしまひました又嫁いだ婦人方は皆齒を黑塗にして眉毛を剃落したものでスが之も餘程少なくなりました又丸髷嶋田髷も中々立派で程のよいものでスが今日では段々になくなりさうになッて來ました此外昔よりの仕來が今日私どもの目の前にて追々消え失せて仕まふを見る事が中々多くございます世の中が坐ッて居る時は仕來もまた坐ッて居りまして變る事が少なうございますが維新以來の如く一足飛びゝ進みます世の中にては古き仕來がメチャ〱に崩れて仕まひますから之が爲に時とすると實によろしくない事が出來まして全體仕來といふものは世の中の秩序即ちキマリの爲になくてならないものと思ひますが今日の如くいまだ新しい仕來の出來ないうちに古い仕來がズン〱消えて仕まッては誠に困る事と考へまして併し立派な人でも仕來などを賤しむものも世の中にありまして己れは獨立の男子なり又女子なりと力みまして並外れの事をするを好む者がありますが箇樣な人でも能々そのよる所を分析してみると矢張世の中の仕來に依ッて居る事が多いものでス何ぼ獨立自慢の日本人でも頭でお辭儀をする代りに尻でお辭儀をするものはありますまいまた獨立自慢の西洋人でも手と握る代りに耳を摘むものはありますまいその外大低の事は仕來に從ふもので是らの人のいふ所と

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

爲す所とハ大層違ふもので可笑事も往々あります扨て人間社會にハ仕來が萬事につき必要でそが交際上にハ最も必要と思ひますとりわけ男女の交際に於きましてハその必要なる事と甚だ感じます昔から交際上の仕來と申すものハ色々あります譬へば婦人が婚禮の席などに列します時ハ白襟紋附丸髷でなくてハならぬとか人の前に出る時ハ髪をかき上げ前掛をはづすとか男の客の前に出ねばならぬ事がある時ハ下婢なれなんなれ必ず身分の外に一人を傍におくとか申す類の事が澤山あります固より心ばへ正しき婦人が一人で男子の前に出るとも聊たりとも間違らしき事のない譯ですが昔の婦人ハ正しければ正き程箇樣な仕來に心と用ふる事が多かつたさうでございます昔の仕來の中にハ今日にてハ行ハれぬ事もありますがよくその時代の事情と考へて見ると至極尤もの事が多いと考へます今日になりましてハ時勢が餘程變つて來まして西洋流の事が次第〳〵に派入つて來まして 私ども昔と違ひ西洋服と着て居り横文字の書物などを捻ります事になりましたから 私どもの交際上にも餘程西洋風の仕來を用ひなければならないやうになりました扨てまた昔のやうな男女の交際が少ない時代におきましてハ交際の心得も今日ほどにハ必要でハなかッたかも知れませんが今日となりましてハ男女の交際ハ甚だ必要だといふ事になりましたから交際の心得もまた極めて必要となりました此男女交際の事につきまして一つお話があります數年前に 私が或る地方の開港場に逗留いたした事がありますが其地に居りました或る外國の領事ハ全體餘り賢き人でなくて人望が少ないとか申す事でスがその妻君ハ極めて交際の上手なる賢き婦人でスから妻君の爲めその領事ハ勤め續いて居ると申す事がありました 私も其宅にて面會いたしました事もありますが其領事先生も賢くないとハ決して思ひませなんだが成程その妻君ハ評判の通り賢い婦人でありました日本人でも此後段々と妻君が交際の事に加はるやうになりますと妻君が木面人でハ困るでせう且又妻君ハ西洋風の交際の仕來を心得て居て淑女の行狀擧動に愧る所なきやうにせねばなりませんと思ひます昔のやうに女子の教育が甚だ不完全なる時代におきましてハ婦人方が始終家の内に引込で居られましたらうが今日の如く聽衆と始め婦人方が立派な教育を受けられて我が國の言葉の讀書ハ勿論裁縫の事家事經濟の事物理學の事理學の事化學の事博物學の事のみならず英語の讀書會話等も自在に出來るやうになりましたから昔のやうに

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

家の内に閉込られて満足せぬハ勿論の事でス夫故種々の集會などがありまして男女うち交る事も追々に多くなりましたそれ夜會だそれ庭遊びだそれディンナーだなどとて婦人方が出掛られる事ハ甚だ結構な事で是が爲に婦人方に利益あるのみならず男子も亦 行状がよくなりますから双方の爲によろしい事でス併し男女うち交りまして宴會などいたします時ハ交際の仕來をよく心得て居りませぬと見苦しい事も出來ないとハいはれませぬ幾ら心の正しい人でも優美なる社會の仕來に構はずに勝手次第の振舞をする時ハろの社會に容れられませんん人々に嫌がられまそから到底自分の娯樂もなくなりまそ社會の仕來と申すものハ恰ど人の衣服のやうなものでス衣服などに構ふものかといひまして物數奇に破れ着ものを着て威張ッて見た所で人に嫌はれてつまらない事でス是と同じ事で社會の仕來の如き瑣細な事に構ふものかといひまして勝手氣儘な振舞をなすものハたゞ人々に氣違とか馬鹿ものとかのせらるゝのみでス此頃の夜會であッたか餘程前の夜會であッたか夫ハ申しませんが或る男子が奇妙な人でありまして其心根ハ決して惡くハありませまいが交際の仕來に構はないと見えまして婦人方が威儀を正しくして列んで坐ッて居る前で高聲にて是等の婦人ハろの衣裳の方が顔よりも餘程立派と二三度繰返して其近傍の人に語りまして聞くものをして冷汗を流さしめたさうでスまた此人ハ舞踏の眞中に拳を拵へノッ〳〵派入り込んで歩き廻ッたさうでス此人の如きハ其心情を察するに誠に氣の毒とも何ともいはれぬ程でございます此人ハ夫でよいと思ッて居るでせうが外の人ハ皆野蠻人として竊に笑ッて居たさうでス婦人方の面前にて其悪口をいひ又ハ座舗能とか座敷狂言とかいふ催ほしのある時に招かれたる客が無暗にノッ〳〵ろの中に派入込む等の事ハ日本の昔よりの仕來でも許さぬ事でス况て近頃西洋より入來りたる風習なる夜會に於てハ人々皆禮儀を正しうすべきのに前に申したやうな不行儀千萬の事がありましてハ實に慚しき事でございます是位ゐの事ハ別に學ばずとも知れた事でスのに是をも耻とする事を知らない人も世の中にハあるものと見えます（未完）

◎雜記

○妻たるものゝ爲まじき事　ガセット新聞抄譯

良人が毎朝新聞若くハ毎夕新聞を讀みて在る時ハ愚なる事を問ふまじき事良人ハ讒謗事件或ハ夫婦喧嘩などをも外報また

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

ハ諸相場を讀むと同じく大切なる事と思ひ居れるのも知られずまた良人が是れと思ふ事あらんには問はずも讀て聞かすべしと信じ靜かに之を待つべし

食事前には面白からぬ談話をなしまたは不愉快なる事の手傳を頼むまじき事

衣服棚の鈎を專用すまじき事良人の爲に一鈎を殘しその次は母のものを懸けさせその後に我がものを懸くべし

良人の注意して片附ある受取書或は書出などに手を附けまじきこと

夜分たりとも良人に稚兒を抱かせその保を托すまじき事取り分け一週間内に三夜はカルタ遊びに耽るかまたは芝居見物に耽る良人をして殘りの三夜とも家にありて斯る仕事をなさしめん事は難かるべし

櫛などに女の長き毛髮を殘し置き良人の用ふるブラシュに附き纏はしむまじき事

良人の母の如何になせしといふ事を知り我が良人にもその如く仕へ我が子供をも可成その如く教育せんことを勉むべし左らばその子供等の成長して妻を娶りたる時もまた我が身の斯くせらるべき模型となるべし

◎新作物語

一夕學びの友來りて予に語るやう近頃社會改良の說一時世の中に勢力を得てより婦人教育の問題相伴はれて數人相會する毎に談話の之に及ばざるはなし兄も婦女教育に熱中する者かと予之に答へかく予は最も婦人の地位の劣等に在りて我が母の侮蔑を受るとの太だ甚だしきを遺憾とする者なりと客またいへらく兄の宿論は吾人の已に業に詳悉せる所にぞある然れバ兄が前後數回に著はしたる女子教育的の小說に盡せりとするやと予首を左右に掉りて言へるやう唯だ是九牛が一毛に過ず予が期する所の將來婦人の模型は精功緻密にして最も完全無瑕のものたり焉んぞ二三小說の能く盡す所あらんやと客聲に應じて問ふ然らんには猶ほ兄が意見の在る所を見て後に予が宿積の說を解かんと時に繙文舍主傍らにありていふ我舍曾て女學叢誌なるものを發刊して普く女子の智德を裨補せんとを期せり君若婦女教育に熱心なる其言の如くにして而も富贍無盡の想像を儲蓄するとならば請ふ其說を我叢誌に頒てよ道は一なり苟くも女教の治及を計らんとするには最も之を數多に分配するに若ず

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY

と予惘然として答ふる所を知らず績文舍々主固く約して去る後數日督促と嚴にす予其自誇皇大にして今將之を辞する能はず枯腸を搾つて纔よ窮案を拾ひ遂に紙上を瀆し併せて貴夫人淑女の清觀を穢すとをは爲れり是世俗に所謂口から高野なるものにして駟も舌に及ばざると實に斯の如し敬愛なる同胞姉妹諸子よ幸ひに多辯を避けよ乃ち玆に一篇の腐敗文字を列べて小說の眞似を綴る其命意の如何は欠伸と忍びて徹宵の枕燈を剔盡すを見て知らん　南翠外史記す

○閨の徹夜燈　第一篇

第一　父親なき少女のはなし

いづれの時いづこの里にやありけん我が帝京のうちに豐かなる人ありけり姓を富澤といひ名を榮と號ばれつ阿富美となんいへる最愛の妻とゝもにうら安の世をやすらかにも送りけるが夫婦の中には只だ僅のに阿覺といへる女子一人あるのみにて外には黄金に勝る子寶とてもなし然れば單身子の常として苟且の事にも父母の心を痛むること世に勝ぐれて泣むづかる時は直ちに乳を含めて後に吐乳哯の出づるをも知らず蹶づきて泣き叫べば忽ち飴を與へて齒中の石灰質の滅するをおもはず添ひ寐そる母が血温の爲めに寐汗かいたりとて急に衣を薄うして感冒を招くを忘る灌身を怠りて閉塞惡寒を感じたりとて密閉して却りて蒸氣を蟄塞せしむるに心づかず智德兩育に疎からぬ細君ながら性理と病理には更にお近づきなきものと見え氣を利して却つて醫員に小言と言はるゝともありしとかや細君乍ち感慨して「さても〳〵女は骨の折たものかな家事經濟と日用文書の往復、裁縫、女禮、香、茶、花、その外遊藝の一手二手乃至は料理獻立の概略を心得なば夫れよて適れ賢夫人と仰がれなんと思ひしに然では子供の養育に事缺きぬ日外の新聞に亞米利加のイースト、レーキ夫人が明治女學校にて婦人智育の事を說きたる中に物理の學が育兒に大切なりとて毛糸を編む時には先づ毛糸が何から出來たるか色は何から製されたるかを吟味せよ鐵瓶は何よ依て鑄られしか湯は何故に沸騰するやに注意せよと言ひたるが實に〳〵道理至極ぞかし性理、病理、衛生の道と知りさらば懷姙中にも心して分娩に臨んで非常の苦痛はせざりしならん」と是れより後は暇ある每に是等の大切なる學問を心がけねば成らじとて三十越た身の上にも晩時ながら氣の着かしは適れ賢母の心榮なり
然れども嬰兒の習慣は身體の成長そるとゝも同じく成長するものにて悲しい哉阿覺は六年の曉に父なる榮は世を蚤うして

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

母が手鹽の辛みも薄く甘く成り勝ち成人して親の目にハ然までにわらねど他人から見る時ハ我が儘ヤンチヤン猫ヤンチヤン隣家の犬ハ棒を頂き裏の家雞ハお手玉の投打に遭ひ偶々比隣で理解を諭せばさも仰山にワッと泣いて卒然我が家へ何處其處の……おぢさんが……と駈込むハ言告口の種蒔なるべし不憫なるハ道側をまごつく蟇蛙なり學校の往戻りにハ必らずお娘チヤンの虫身御供に上げられ家の棟のない代り草叢へ白羽の矢が立つ時ハ眷族故舊打集ひて何の因果でヤンチヤン姫のお見出しにハ預かりしぞと夜一夜聲を限りに泣叫べば天も哀れを催してサッと一雨降るといふ雨降る時ハ石垣村の蟹藏がヤレ／＼蛙が虫身御供に上がる

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

のを歎いたお影で我等も共々木綿糸の綁縛にかゝり思ひのまゝに引廻された其の揚句が飯たきを命せられ大事の〳〵鋏爪を折られて草履下駄の往生ぞやと兎奔られて狐悲しむ非類の愁歎場もありとかや斯る娘も我が子として見たらんには慾目と贔負目とが愛情にまつはり子を見る眼の霧霞となりて比隣の噂も我子の上とは氣の着くまじさても恩愛の迷ひ程恐らく見當を狂はせるものはなしとは女學校の敎員が仰せなり

斯ても幼稚うちは猶は恕すべく猶愛らしき處もあり道傍の草にまで憎まるゝといふ八九才に及んでは荒びも益々増長すれど當人は聞嚙りに活潑だと心得て女の子にはあるまじき石投げ棒打の見るも危なき戯れと爲しろ〳〵お尻を持込れて慈母の頭を下さするとあり然れども始めの程は父なし子の悲しさ一割方の損亡とも思ひしが目くら乞食の貰つた錢と掠奪つて長屋の子供に燒芋の大番ぶるまひをした、イヤ昨日は盲目按摩に危道と教へて堀割へおッ倣めた、未だ夫處ぢやない魚屋の猫とふン捕つて惣後架へ生ながら糞葬した此の夏は虎列刺病の掃除桶へ金魚の荷をぶち明たのと噂とり〳〵其處で後家さんも孟母三遷を思ひ出して下等の土地は鞠育の地にあらずと去る山の手の邸町へ移轉たる賢母の名空しからず

◎家政要報

○黒き絹を洗ふ法　黒色の絹を洗ふには牛膽を沸湯にて溶し清潔なる海綿に浸して絹の兩面によく塗りたる後よく絞り出してまた前のごとく塗り淸水にてよく度々水と取替て漱ぎ空氣に乾かしたるのち板の上に針にて張り附け膠水を海綿に浸して絹を拭ひ火氣にあてゝ乾かすべし

○絹の汚點を抜く法　レモン油二オンスと松精油一オンスとを壜に入れてよく混せ合し之を麻布の切に浸し脂の類ろの他の汚點ある場所を徐々に拭き落すべし右の合藥の代りに安息香油を用ふるもよし（爰に記す藥品は藥店にあり）

○蜜柑の下落　府下各市場に於て温州蜜柑は目下入荷少なく品物拂底なるにも拘はらず非常に下落して上等一箱につき三十五錢、中等二十五錢、屑物は十五六錢位の相場の由

○魚類　はメジ鮪一尾八十錢、尺鯛の上等一尾三十錢、比目魚大の上等一尾五十錢銚子物は安くして一尾廿五錢位、鯖大三錢七厘位撫鯖三錢八厘より四錢、サシミ物は總て高し

○白米　（一等米）一斗三升八合（二等）一斗四升七合（三等）一斗五升二合（四等）一斗六升四合（五等）一斗七升三合

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

◎御伽草

○數學問題(荅ハ本月廿日迄)
勾たるか殳たるか知らざるもの十尺ありその積ハ既に顯れたるものゝ十二倍なりといふ三邊の長如何(南勢田邊君出題)

○考へものゝ題(同上)
左の詩(甲)及び歌(乙)ハ誰を詠ぜしや
(甲)近頃貴社新誌上に歌の當物あり其趣向いと妙なるを覺ゆ余謂ふに詩もまた當物ゟ出さバ妙なるべしと即ち二三本邦詠史詩と記して試に諸君に問ふ　岡山秋蝶園主
許馬轟名命世ノ雄、腥風殺氣海朦朧、波頭ノ半月全ク收レ影、誰カ道フ一身輕「似レ弓」　(編者曰す毎號一首づゝを揭くべし)
(乙)益荒雄もかゝりて及はんよしのやま君を慕ひしたかき調ハ

○前々號數學問題の荅式
$\sqrt{35721} = 189$　荅百八十九間(荅者)東京中村かね子、竹内哲夫、伊勢雅樂女史、同田邊小七、攝津伊丹牛谷美子、淡路仁井万平、筑前飯塚驛廣田とめ、仙臺臼井とく

○前々號考へ物の解
一斗の内より七舛と一器に取り其中より三舛づゝ二度元の器へ戻し而て元の器より又七舛と一器へ戻せバ一器ハ八舛元の器ハ二舛となる依て八舛の内より三舛を元の器へ戻せばどちらも五升づゝとなる(荅者)東京伊藤さと、築前飯塚廣田とめ」又解「一斗の内より三升づゝ三度乙器に取り乙器より七升と元の器ゟ戻し元の器より三升を乙器に取れば甲乙とも五升づゝとなる」(荅者)伊勢田邊小七、攝津牛谷義子、淡路仁井万平、東京竹内哲夫、神田山田のぶ、山陰道一寒生

◎寄書

○我が愛すべき學生姊妹よ(前號の續き)　木内英介
然れども如何せん姊妹が未だ男子同等の敎育を受る能はざるを我姊妹の就て學ぶべき所我國中二三の普通科を授る學校の外未だ高尙の學科を修むべき所あらず活潑なる我姊妹も英敏なる我姊妹も其志を暢ふるの手段なきを奈何せん若夫れ昔日女學不進步の時なりせば尙は夫可なり今日我姊妹の秀才彬々たるハ余輩の自ら愧つる有樣あり然るに女子未だ高尙の學術を修むるに足らずといふ事やあるべき我邦敎育家の泰斗ゟして或ハ女子ハ体質の虛弱なるを以て男子と駢馳するに足ずといひ隨て敎育亦男子と同等なるべからずと唱ふ夫れ女子の体質虛弱なるハ習慣の致す所ゟあらずや昔より男子と別視せるが故に自然に体育に乏きが故にあらずや或ハ歐洲の經驗を引証せると雖も余輩ハ未だ歐洲を以て完全たる男女同等の模範となす能はずホーマアの詩篇希臘羅馬以來各國の歷史を看るも男子ハ女子を愛敬せる迄にて眞正同等の權力を有するハ甚だ罕ゟ見る所なり優勝劣敗の文字を以て有名なる或る大家をして云はしめばまたこれ優勝劣敗進化の作用ゟ依るものなりといはんかなれども進化の世界ハ漸く變じて眞理の世界とならん

百九十七

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

んとす進化は眞理に逢ふて漸滅する者なり眞理は男女を別視せず一視同仁は天意なればなり今日歐洲各國に於て女子の教育高尚なりと雖も尙ほ女子は男子より柔順なるを尊ぶの有樣あるにあらずや柔順ょ流るゝ時は自然活潑の精神を失ひ身躰の虛弱に赴くは必竟これが爲のみ固より輕卒は惡むべしと雖も活潑爽快あるは實に嘉すべし婦人にして活潑爽快なる時は躰質虛弱の患を脫そべし何ぞ夫れ躰質虛弱なりと斷して同等の教育を授く可らずといふを得ん

聞く所に據れば或二三の私立學校には我姉妹が入學を求めしも之を許さゞりしと然らば我姉妹は未だ卑屈の境遇を脫す可らざる歟思ふに其許さゞりし所以のものは二三の末事に懲々したるにて蓋し風俗の然らしむる所なり

口に男女同權を唱ふる者も男女相伴ひ男女相語るを看れば輙ち之を非評目笑するは我邦の風俗なり此風俗あればこそ男女席を同うする事能はず隨て同一の教育と自由に受る事能ざれ此風俗を矯むるには斷然交際の道を盛にし此風俗を壓倒し人々として邪推を男女の間に夾むなきに至らしむるにありこれストライキ的の者に非ずしてイムプルーヴメント的の手段なり惡弊を矯むるの手段のみならず眞理を興すの手段なり然に怪むべし口よは能く男女交際の必用を論ずる者よして之を實行する能はざる者あるは世の風刺を恐るゝが故なる乎風俗を矯めんと欲してまた風俗に泥む實に賴むに足らず

我愛すべき學生姉妹よ已に前途の進歩は吾々の任とそれば風俗と改良するも我々の任なり社會の幸福は已よ姉妹に依て進退するとせば奮發興起して交際を求むるは我姉妹の急務なり

特にまた余輩と姉妹とは均しく學窓にありて前途の事に任じなから道相通せずんば兩輪軸なきに似たり何を以てか相輔くると得ん余輩は姉妹の中情を知る能はず姉妹もまた余輩の中情を知る能はざるべし凡そ人に對そるに當て其躰裁を修むるは人の情なり男女其內情を悉すょ至れば互に其行狀態度を愼み各其內幕を整理するに至るや見るか如し特に禍は大概中情と悉さゞるより起る風刺誹謗また多くは之より生ず卽ち交際の道を公にそるは今日の急務なり

或は將にいとんとす今日男女交と開かば其間いふ可らざるの惡弊を生じ風俗壞敗期て待つべしとこれ早きょ過るといふの說なり今日の社會は已よ野蠻にあらず決て早しといふ可らず好や早しとせんか早きに過るの弊は尙恕すべし遲きに過ぐるの弊はいふ可らす若夫れ電氣を使用するの法を知ず猥りに之を操らば禍害と釀すべけれども己に其使用法に熟そる時は其益たる公大なる者なり然るを始より電氣の力は非常に宏益あれども其法を誤らば反て害ありとて措て用ゐざれば何の日か其益と受るを得んや交際の道と開くの利害もまた此の如し乞ふ試に頭を仰て雲上の踏舞夜會を見よ耶蘇教會堂の男女を見よ道德を以て御する者は必しも其憂なきものなり歐洲各國の我邦に比して墻を踰る徒の少きは何ぞや之を以て之を觀れば男女いふに忍びさるの弊は交際の如何にあらずして道德の如何にあり道德の進歩を計るは交を際公にして其中情を顯すよあり我愛そべき學生姉妹よ已に風俗を矯むるの心あらばまた顧みて風俗に縻せらるゝ勿れ姉妹にして風俗を矯むるの精神なくんば男女席を同するに至らず如何ぞ自由の教育を受る

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

と得ん卑屈の境遇は脱を可らざるなり我愛すべき學生姉妹よ社會前途の最大幸福は措て之を顧みざる乎余輩は交と姉妹に求めてやまざる者なり姉妹の中情を知らんと欲して已まざるものなり嗚呼我愛そべき活潑なる學生姉妹よ英敏なる學生姉妹よ

○埋　火　　小石川　ろ　く　子

まどろみしほどにこの世やふけぬらん灰になりぬる閨の埋火

○海邊千鳥　　仝

しは風の枯葉ふきしくはま荻にこゑうちうひてなく千鳥かな

○寄　雨　戀　　仝

音とのみしのふの軒のよるの雨もりなはいかに袖しほらまし

○詠　史　　仝

時しくの花たちはなれ綿津海よ沈みてのちも世にかをりけり

○春　草　　南勢　田邊　榮資

まくらにはいつらむすはむ若艸は今を春へと萌いてにけり」

棹姫の衣の裾斜春あさみなほうらわかきもきのしたくさ」

○遊　糸　　仝

のどかなる空の霞のひまもりてしつこゝろなくわろふ糸遊」

獨のみなかむる空の糸遊はみだれくるしき物にぞありける」

○春風(戯歌)　　美濃　撫箏　女史

ふきそめて氷もとくる池みづやなみにも花のはるのそつかせ

○雲間歸雁　　三田　中村　かね子

あけかたの雲間に遠くなきつれてとこ世に歸る春のかりかね

○霰隔行舟

楫のおとも八重のかすみに隔てつゝとほくなりゆく千舟百舟

◎英語獨修

○ニユー、ナショナル、リードル直譯

〔第九節〕㊀汝ハ㊁此㊂小さ㊃小鳥ヲ㊄見㊅なす(か)●㊀然り㊁私ハ㊂小さ㊃小鳥ヲ㊄見る㊀●汝ハ㊁此㊂小さ㊃鳥の巣ヲ㊄見㊅なす(か)●㊀然㊁而て㊂私ハ㊃夫ニ㊄於て㊅卵ヲ㊆見る●㊀巣ニ㊁於ける㊂卵ハ㊃白く㊄ある

〔第十節〕㊀汝ハ㊁小さ㊂娘ト㊃而て㊄彼女の㊅猫ヲ㊆見㊇なそ(か)●㊀遊ぶ㊁彼等ヲ㊂見ロ●㊀此㊁小さ㊂娘ハ㊃アンデ㊄ある㊀アン、㊁彼女の㊂猫ヲ㊃好む●㊀此㊁猫ハ㊂鳥の巣ニ㊃於て㊄わりし●㊀牝鷄ハ㊁彼女。㊂於て㊃走りし

NEW NATIONAL FIRST READER.

Lesson IX.

ドウー ユー シー ヂス リツル ボルド
Do you see this little bird ?
㊅ ㊀ ㊄ ㊁ ㊂ ㊃

エース アイ シー ゼ リツル ボルド
Yes, I see the little bird.
㊀ ㊁ ㊄ ㊂ ㊃

ドウー ユー シー ヂス リツル ネスト
Do you see this little nest ?
㊅ ㊀ ㊄ ㊁ ㊂ ㊃

エース エンド アイ シー ゼ エッグズ イヌ イト
Yes, and I see the eggs in it.
㊀ ㊁ ㊂ ㊆ ㊅ ㊄ ㊃

ゼ エグズ イン ゼ ネスト アール ホワイト
The eggs in the nest are white.
㊂ ㊁ ㊀ ㊄ ㊃

Lesson X.

ドウー ユー シー ゼ リツル ガール エンド ホル キヤット
Do you see the little girl and her cat ?
㊇ ㊀ ㊆ ㊁ ㊂ ㊃ ㊄ ㊅

シー ゼム プレイ　ヂス リツル ガール イズ アン
See them play.　This little girl is Ann.
㊂ ㊁ ㊀　㊀ ㊁ ㊂ ㊄ ㊃

アン ライキス ホル キヤット　ヂス キヤクト ヲズ イヌ エ ネスト
Ann likes her cat.　This cat was in a nest.
㊀ ㊃ ㊁ ㊂　㊀ ㊁ ㊄ ㊃ ㊂

エ ヘン ラン アト ホル
A hen ran at her.
㊀ ㊃ ㊂ ㊁

百九十九

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

驛遞局認可

速記叢書講談演説集第四册第五册出版

第四册 ●定價郵税共特別割引壹册ニ付十四錢（郵券代用妨げなし）

●人類的の慾をして動物的の慾を制せしむべし　元老院議官加藤弘之君●飲酒より生ずる弊害と調査その方法と論す　杉亨二君●神學卒業生の心得　米國博士フルベッキ君●日本小説改良論　法學士關直彦君●行政法大意第一回　内務省參事官宇川盛三郎君

第五册 ●學問と宗教との極點を論ず　文科大學講師原坦山君●飲酒の害　元老院議官中村正直君●我日本帝國人民の將來と前知するの説及其方法　杉亨二君○基督教の地位　井深梶之助君●行政法大意第二回　内務省參事官宇川盛三郎君●雜記○日本の演説討論○速記術に關する各地方の通信○完全なる速記學校○筆記讀書會

（附言）**第壹册** 初版賣切候に付久く御求めに應し難かりし處過般**再版**出來仕候に付併せて御注文希願候（定價郵税共特別割引十四錢）

發賣 ●東京日本橋通三丁目丸善書店●東京本町三丁目瑞穗屋
●東京馬喰町二丁目石川治兵衛●東京神田淡路町巖々堂

成立學舍女子部設置
女生徒募集廣告

今般本舍女子部ヲ駿河臺袋町九番地ニ設置シ外國貴婦人三名並ニ左ノ各學科專門ノ本邦貴婦人廿餘名ヲ聘シ左ノ學科ヲ教授ス有志ノ貴女ハ御申込アルヘシ
修身、和漢文學、英語文學、理學、心理學、衞生（生理健全育兒看病）家政、經濟、裁縫、（和洋）編物、刺繡、押繪、組糸、唱歌、音樂（和洋）圖畫（和洋）挿花、茶湯、割烹（和洋）運動
因ニ云フ本部ノ設置ヲ贊成シ續々金員或ハ書籍器具等ヲ寄送セラレ本舍ノ感謝ニ堪ヘサル所ナリ尚寄附セラル、方ハ同所中原貞七ヘ宛テ御届アランコトヲ望ム

三月　駿河臺袋町

成立學舍

教育書専賣所廣告

井上圓了先生著述

●倫理通論

全二册一册定價金七十錢

近來百科ノ學術概邦人ノ採用スル所トナリ整正ノ方法ニヨリテ之ヲ研究スルノ風大ニ行ハレ來リシヨリ其思想ハ日ニ緻密ニ赴キ諸學共ニ曖昧ナル研究法ニ滿足セザルニ至レリ殊ニ倫理學ノ如キハ從來學術ノ基礎確固ナラズシテ諸家論スル所甚區々タリシヨリ世ノ學者皆其不備ヲ責メ敢テ深ク之ヲ研究スル者ナキニ至ル當路モ亦深ク之ヲ憂ヘテ完全ナル倫理學ノ基礎ヲ立テ百家ノ説ヲ綜該シ一理ヲ以テ之ヲ貫キ偏ナラズ頗ナラズ最モ正確ナル書ヲ作リ之ヲ師範學校中學校等ノ教科書ニ供シ從テ全國ノ人ヲシテ之ヲ讀マシメンコトヲ切望スルニ似タリ然レドモ世上未ダ能ク此目的ニ協ヘル書ヲ作リ得ル者アルヲ聞カズ蓋其極メテ難ク尋常人ノ一朝ニシテ企望スベキニアラザレバナリ井上先生茲ニ慨スルノ久シキ數年以來ノ研修スル所ニヨリ遂ニ一書ヲ出シテ倫理通論ト名ケ以テ目下ノ急需ヲ救ハントセリ其論ノ正確ナル記述法ノ整然タル以テ上ノ目的ヲ達シタルモノト云フヘシ今弊舍請フテ之ヲ出版ス江湖諸君幸ニ購覽シテ此書ノ價値ヲ知リ賜ヘ

東京下谷區練塀町十四番地

普及舍

本誌代價表

壹冊	正價金四錢	此郵税壹錢
拾冊	同金三拾八錢	同拾錢
二拾冊	同金七拾五錢	同二拾錢
三拾冊	同金壹圓拾錢	同三拾錢
四拾冊	同金壹圓四拾錢	同四拾錢

但シ東京十五區内郵税不申請

本舍は御注文有之と雖とも前金御送附無之間ハ雜誌配達不仕事に相定候に付御注文の節ハ必ず代價郵税共郵便爲替又ハ通運便にて御送附あらんことを希ふ●郵券代用ハ壹錢切手ニて一割増し●郵便爲替ハ芝區芝口郵便局へ御振込み其爲替券と本舍へ御送附可被下候　但し東京十五區内ハ御斷り無之間ハ引續き配達仕候

發行所　東京々橋區南鍋町式丁目拾壹番地　績文舍

持主兼印刷人　松本義弘
編輯人　初鹿野鎌五郎

大賣捌　東京芝區愛宕町一丁目三番地　修正堂
同　神田區淡路町　同　巖々堂

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY